

平成 25 年 12 月 9 日
独立行政法人 港湾空港技術研究所

フィリピン台風災害に関する現地被害調査の派遣について

平成 25 年 11 月 8 日、台風 30 号（Haiyan、フィリピン名 Yolanda）が引き起こした高潮によって、フィリピン中部では、犠牲者が 5 千名を超える大きな被害が発生しています。

国土交通省所管の独立行政法人港湾空港技術研究所は、フィリピン国運輸省（Republic of the Philippines Department Of Transportation And Communications）の要請を受け、現地被害調査に派遣いたしましたのでお知らせします。

なお、本現地被害調査は、12 月 11 日から行う土木学会（JSCE）とフィリピン土木学会（PICE）合同の JSCE-PICE 合同災害緊急調査の先行調査の位置づけともなっております。本現地調査の報告は、JSCE-PICE 合同災害緊急調査団の緊急報告と一緒に行う予定です。

<派遣の概要>

- ・ 期間：12 月 3 日（火）～12 月 7 日（土）
- ・ 派遣専門家 独立行政法人 港湾空港技術研究所
アジア・太平洋沿岸防災研究センター 上席研究官 有川 太郎
- ・ 調査内容：フィリピン中部における高潮高さ、被害状況

問い合わせ先

独立行政法人 港湾空港技術研究所

企画管理部 企画課

課長 福元 正武 （代表）046-844-5010（内線 5140）
（直通）046-844-5040

アジア・太平洋沿岸防災研究センター

センター長 栗山 善昭 （代表）046-844-5010（内線 5200）
（直通）046-844-5052